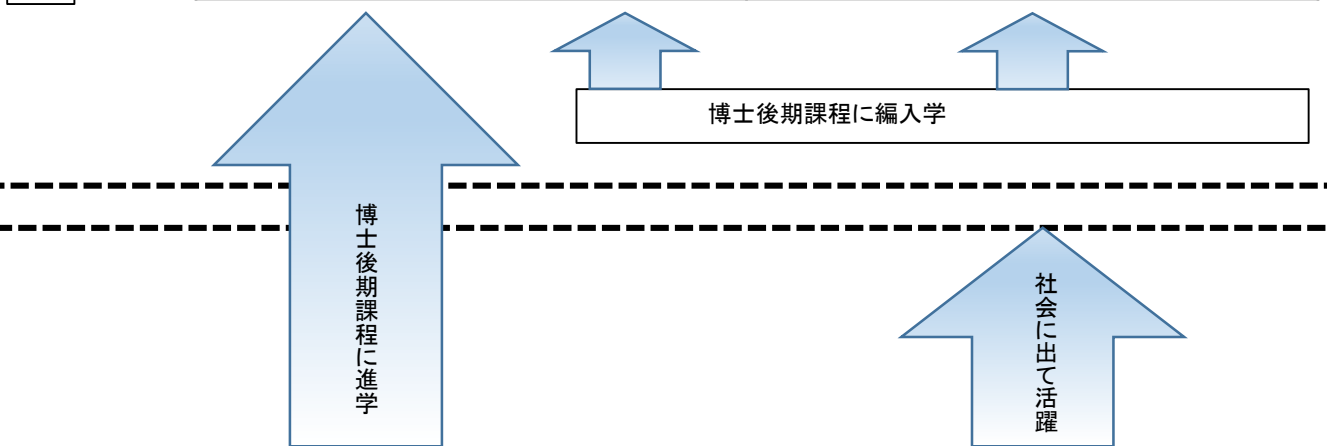


# 京都大学大学院人間・環境学研究科のカリキュラム

博士学位の授与基準	「着想の独創性」、「論述の論理性」、「問題解決の企画力」、「持続的努力」などの観点からめざましい学問的成果を上げたと認められる優れた学位論文を作成した学生に、博士(人間・環境学)の学位を授与する。		
専攻	共生人間学専攻	共生文明学専攻	相関環境学専攻
教育目標	「人間相互の共生」という視点に立ち、人間と環境の相関関係において人間の根源を探求しつつ、現代社会の具体的諸課題に取り組み、社会的要請に柔軟に応えられる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。	共生・融和の可能性を追求するため、多様な文明の間にみられる対立・相克の構造を解明するとともに、歴史・社会・文化の諸相にわたって複雑にからみあう文明の諸問題に新たな見地から取り組み、解決の方向性を示すことのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。	人間と自然環境の関わりを包括的に理解することを目指した基礎研究を展開するとともに、自然と人間の調和を図るために必要な新しい社会システムの確立に、高度な見識と科学的・論理的判断力をもって貢献することのできる研究者、指導者、実務者の養成を目指す。

博士後期課程	3年次	博士論文提出 特別演習、特別セミナー	博士論文として総合論文提出
	2年次	特別研究Ⅱ レポートⅡ	特別演習、特別セミナー
	1年次	特別研究Ⅰ レポートⅠ	特別研究Ⅱ レポートⅡ
	入学資格	大学院博士前期課程(修士課程)等修了又は修了見込の者で、修士論文等の審査及び口頭発表及び試問において十分な学識と研究能力を有すると判定された者。	博士前期課程(修士課程)修了後も引き続き社会人として研究を継続し論文・著書の刊行を通じて本研究科の研究目的に沿った研究業績を既に発表している者。上記の業績の審査と口頭発表及び試問によって入学可否の判定を行う。
		課程博士A	課程博士B



修士学位の授与基準	幅広い知識と高度の研究能力を修得した上で、「着想の独創性」、「論述の論理性」などの観点から相当の研究成果を上げたと認められる学位論文を作成した学生に対し、修士(人間・環境学)の学位を授与する。
-----------	--

修士課程	2年次	修士論文		研究Ⅱ 4単位	研究指導科目 8単位
	1年次	選択必修科目 自専攻開設科目 12単位以上	選択科目 他専攻/他研究科 開設科目および 国際交流科目 10単位以内	講義・演習・実習科目 22単位以上	

専攻	共生人間学専攻	共生文明学専攻	相関環境学専攻
----	---------	---------	---------

人間・環境学研究科が求める学生像	「環境」「自然」「人間」「文明」「文化」を対象とし、幅広い学問分野の連携を通じて、これまでの知の蓄積を踏まえつつ、それを基盤に新たな(創造的な)飛躍をなしうる知的軽やかさをもつ人材。
------------------	---